おわりに

ＪＲ貨物は国鉄分割・民営化に際し、鉄道貨物廃止論・撤退論があった中で、鉄道貨物輸送の存続について突き詰めた議論が無いまま、発足しました。そして、私たちＪＲ貨物労組はＪＲ発足当初から経営基盤の脆弱な貨物会社の経営安定をめざし、組合員の雇用と生活を守るために奮闘してきました。

特に、944億円の長期債務を承継したことや国鉄の老朽車両・設備を抱えたことは、経営に大きな影響を与えました。また、国鉄からの長期債務の償還や老朽車両・設備更新への投資などによって、現在長期債務は1900億円超にも膨らんでいます。さらに、旅客会社の線路を使用しているため、列車遅延時の運行管理などは旅客会社に決定権があり、貨物列車運行を阻害する要因となっています。

私たちは、ＪＲ貨物が社会に役立つ鉄道貨物輸送の役割を発揮するための努力を惜しまず取り組み、大きく発展させることを通じて働く仲間の雇用と生活を守っていく決意を持っています。しかし、単に株の上場や2018年に100～120億円の利益を上げることを目的とする営利優先・縮小均衡の企業戦略では、鉄道貨物輸送の将来はありません。国鉄改革から25年経った現在、鉄道貨物の社会的責任を果たし、鉄道貨物輸送の新たなシェアを拡大し、脆弱な経営基盤をしっかりと立て直すことが重要であると考えています。

今回、労働組合として内的・外的要因の問題点を提言にまとめました。環境にやさしい鉄道貨物輸送がさらに社会に貢献でき、「わが国の物流を支えるためのＪＲ貨物とするため」に自らを律し、労使協力して鉄道貨物輸送を未来に発展させます。

安全・健康・ゆとりを基軸とした職場環境・企業風土の実現のために――

守ろう！ 創ろう！ 俺たちの鉄道貨物輸送！

2012年10月3日　初版第1刷発行
発行人：相澤武志　　編集人：伊藤俊也
発行所：日本貨物鉄道労働組合（ＪＲ貨物労組）
〒114-0013 東京都北区東田端1-16 ＪＲ貨物田端信号場駅5F
ＮＴＴ：03-3819-7071
ＪＲ：054-2901～3
Email：jrfu@jrfu.net
デザイン・印刷：j.union 株式会社